

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/9

問1 桃山文化に関連する出来事や人物について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。
2. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、浮世絵が流行した。
3. 貸本屋が普及し、十返舎一九などの作者による滑稽本が人々の間で読まれた。
4. 庶民の間で、質素儉約を旨とする「わび茶」が町人文化の中心として広まった。

問2 16世紀、ヨーロッパでプロテスタントの勢力が拡大する中、カトリック教会が内部の自己改革を行い、勢力の回復を図るために海外布教を積極的に進めた動きを何とといいますか。また、その中心となって日本へもキリスト教を伝えた組織の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 対抗宗教改革におけるイエズス会
2. 宗教改革におけるプロテスタント
3. 十字軍におけるテンプル騎士団
4. ルネサンスにおけるメディチ家

問3 豊臣秀吉が行った太閤検地は、中世以来の複雑な土地支配の仕組みを整理し、近世の社会構造の基礎を築くものでした。この政策が土地の権利関係に与えた影響を説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 実際に土地を耕作している農民の名前が検地帳に登録され、それまで公家や寺社が持っていた土地への権利は失われた。
2. 農民の土地所有は全面的に禁止され、検地帳にはその土地を支配する武士の名前のみが耕作者として登録された。
3. 公家や寺社の特権を維持するため、検地帳には以前からの土地所有者である貴族の名がそのまま引き継がれた。
4. 土地の面積のみが調査の対象となり、検地帳への登録を避けた農民には重い罰則を課して土地を取り上げた。

問4 16世紀半ばに種子島へ漂着した船に乗っていた人々によって、日本に鉄砲が伝えられました。この鉄砲を伝えた人々の国名と、その後、高度な金属加工技術を活かして鉄砲の大量生産を行い、商工業の発展とともに繁栄した都市の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. ポルトガルと堺
2. スペインと堺
3. イギリスと博多
4. オランダと長崎

問5 16世紀のヨーロッパにおいて、ドイツのマルティン・ルターがカトリック教会の腐敗を批判し、聖書のみを信仰のよりどころとするよう説いて始まった一連の運動を何とといいますか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 宗教改革
2. ルネサンス
3. 十字軍
4. 産業革命

問6 織田信長が自らの城下町である安土などで実施した政策で、同業者の組合である「座」の特権を廃止し、市場での税を免除して自由な商売を認めたものを何とといいますか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 楽市・楽座
2. 株仲間の結成
3. 太閤検地
4. 刀狩

問7 戦国時代から安土桃山時代にかけて、織田信長や豊臣秀吉といった有力な武将たちが、千利休の提唱した「わび茶」を政治の場に取り入れた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。
2. わび茶が公家の独占的な教養であったため、公家社会とのパイプを築く唯一の手段だったから。
3. 質素な茶室を奨励することで、戦費を調達するために領民へ儉約を促すモデルケースとしたから。
4. 茶道を通じた精神修行を義務付けることで、武士が戦場へ出ることを拒まないように教育したから。

問8 豊臣秀吉が実施した政策のうち、全国で「升（ます）」などの単位を統一して土地の広さや予想収穫量を調べ、耕作者の名前を帳簿に記録することで、年貢を確実に取り立てようとした取り組みを何とというか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 太閤検地
2. 班田収受の法
3. 地租改正
4. 墾田永年私財法

問9 安土桃山時代において、織田信長の後を継ぎ天下を統一した豊臣秀吉が行った政策のうち、農民に対して土地の測量を行って収穫量を定め、一方で武器の所持を禁じて没収することで、武士と百姓の身分を明確に区別しようとした一連の社会変革を何と呼びますか。（2018年 京都公立入試 類似）

1. 兵農分離
2. 下剋上
3. 公地公民
4. 版籍奉還

答え合わせ・解説

問1	答え 1 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。	狩野永徳による力強い屏風画と、千利休による茶の湯の完成は、いずれも桃山文化を代表する事象です。葛飾北斎の浮世絵や貸本屋の普及、滑稽本の流行は、いずれも江戸時代の中期から後期にかけての町人文化（元禄文化や化政文化）の特徴であり、桃山文化とは時代背景が異なります。
問2	答え 1 対抗宗教改革におけるイエズス会	16世紀のヨーロッパでは、免罪符（贖宥状）の販売などをきっかけにルターやカルヴァンが教会批判を行い、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対抗するため、カトリック教会は内部改革を進めるとともに、新大陸やアジアなどの海外に新たな信者を求める活動を展開しました。この一環として設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本へも来航し、キリスト教が日本に伝えられる背景となりました。
問3	答え 1 実際に土地を耕作している農民の名前が検地帳に登録され、それまで公家や寺社が持っていた土地への権利は失われた。	太閤検地は「一地一作人の原則」に基づき、一つの土地に対して一人の耕作者を確定させる政策でした。作成された検地帳には、実際にその土地を耕作する農民の名前が登録されました。これにより、平安時代以来の荘園制において、一つの土地に対して公家や寺社などが重層的に持っていた複雑な権利が整理・排除され、登録された農民が直接、領主に年貢を納める仕組みが整いました。
問4	答え 1 ポルトガルと堺	1543年に種子島へ漂着したポルトガル人によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。この新兵器は、自治都市として栄えていた和泉国の堺や紀伊国の根来などの職人によって国産化が進められ、大量生産されるようになりました。これにより、戦国時代の戦い方は騎馬戦から足軽による集団戦へと大きく変化しました。
問5	答え 1 宗教改革	ルターは、当時のカトリック教会が免罪符（贖罪状）を販売して資金集めを行っていたことを批判し、キリスト教の本来の姿に戻ることを訴えました。この運動はヨーロッパ全体に広がり、カトリックから離脱したプロテスタントと呼ばれる新しい宗派が生まれるきっかけとなりました。
問6	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、商工業を盛んにして自らの経済力を強めるため、古い特権を持つ「座」の支配を打破しました。この政策により、新しく参入する商人にも自由な営業を認め、城下町に多くの人や物資が集まる仕組みを整えました。
問7	答え 1 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。	当時の有力な武将たちは、茶の湯を単なる趣味ではなく「御茶湯御政（おちやのゆごせい）」として政治に利用しました。狭く密閉された茶室は機密保持に適しており、そこで行われる茶会は、恩賞として名品を授けたり、重要な政治的決断を下したりする、武家社会の秩序維持のための特別な儀礼として機能しました。
問8	答え 1 太閤検地	それまでバラバラだった土地の測量基準を全国で統一し、一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を登録しました。これにより、古い時代の荘園制度が完全に消滅し、農民から直接年貢を徴収する仕組みが確立されました。
問9	答え 1 兵農分離	太閤検地によって農民を土地に縛り付け、刀狩によって農民から軍事力を奪うことで、戦う役割の「武士」と、農業に専念する「百姓」という身分の区別が完成しました。これを兵農分離といいます。下剋上は身分の低い者が実力で上の者を倒す風潮を指し、兵農分離はこうした混乱を収束させるための仕組みでもありました。